

発行：東松山市議会 公明 東松山市松葉町 1-1-58 TEL 0493-21-1418（議会事務局）



3月 定例議会（2/26～3/21）終了



令和6年度予算が成立

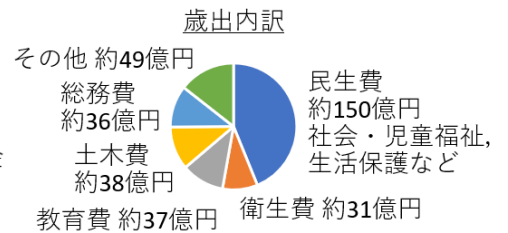
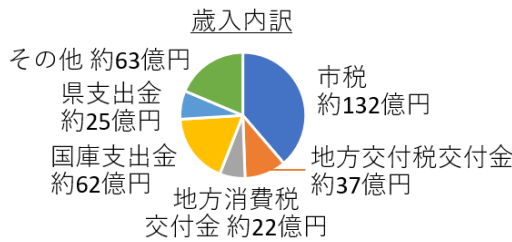
令和6年度各種予算（一般会計，病院事業，上下水道，国民健康保険，介護保険など）が成立  
令和6年度一般会計

歳入・歳出

341 億 1000 万円

令和5年度予算より

2.7%増



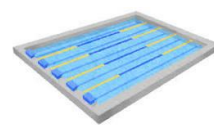
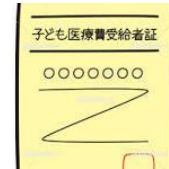
会派公明の要望が予算に反映されました！

- 小中学校体育館へのエアコン設置
- 奨学金返還支援制度の創設
- 紙おむつ給付事業の継続と対象拡大
- リフレッシュチケットのサービス拡大
- 産後うつケア事業の創設
- 第2子以降の認可外保育施設  
利用給付の開始
- 内水氾濫ハザードマップの作成着手
- 子ども見守り隊の熱中症対応保険加入
- 学校図書室への新聞の配置
- 特別な配慮を要する児童の保育環境充実
- 災害時避難要支援者の  
個別避難計画作成促進
- 保育士の人手不足解消と処遇改善 など



その他、3月定例議会での主な議決事項や予算計上された主な新年度事業

- 観光振興基本計画策定委員会設置
- 会計年度任用職員にも勤勉手当支給
- こども医療費支給に関する条例の一部改正
- ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部改正
- 介護や介護予防等の事業の人員及び運営等に関する条例の一部改正
- 市営住宅条例の一部改正
- 産業・環境フェスタと農業祭を統合して産業祭開催
- 市制施行70周年記念式典や関連事業実施
- 令和8年度からの第6次総合計画策定着手
- こども家庭センター開設
- 新ごみ処理施設整備基本構想の作成着手
- 岩鼻運動公園の中央防災倉庫資機材整備
- 民営プールを活用した水泳授業実施  
(令和6年度は7校)
- 都幾川リバーサイドパーク  
マレットゴルフ場整備



## 田中 二美江 3月定例議会での一般質問



### 1. 精度の高い乳がん検診の実施について

問. 本市の乳がんの検診方法は？

答. 乳房の視触診及びマンモグラフィによる検査である。

問. 厚生労働省が定める「がん検診実施のための指針」では、視触診は推奨しないとの見解が示されている。視触診をやめるべきではないか？

答. 関係機関との協議の上、検討を進める。

問. マンモグラフィに比べ、エコー検査は乳腺の割合が高い高濃度乳房の方に対して、がん発見率に優れていると言われている。日本人女性は高濃度乳房の方が多いと聞く。エコー検査を導入していただきたいが、見解はどうか？

答. 国の検討会において、死亡率減少効果や検診の実施体制など、引き続き検証が必要と見解が示されていることから、現時点でエコー検査を導入する予定はない。今後も国の検討会等の動向に留意していく。



### 2. 子宮頸がん検診へのHPV 単独検診導入について

問. 子宮頸がん検診は現在細胞診で行われているが、令和6年4月

より、各自治体においてHPV 検査単独法も選択できることとなった。HPV 検診の方がよりがんの発見率が高く、検診間隔も長いので受診者の負担軽減にもなる。

本市はどちらの検診方法を選択するのか？

答. HPV 検査単独法の導入に当たっての4つの要件を満たせるか検討し、当面の間は細胞診単独での検診を継続していく。

### 3. 外部講師を活用したがん教育について

問. 「がん対策推進基本計画」には、医師やがん患者、がん経験者等の外部講師を活用し、子どもにがんの正しい知識やがん経験者の声を伝えることが重要とある。本市においても、外部講師を活用したがん教育を行うべきと考えるが、見解はどうか？

答. 市内外の活用事例を各学校に周知するなどして、外部講師の活用について働きかけていく。

## 田中二美江の要望が実現します！（一例）

・リフレッシュチケットのサービス拡大  
(令和5年3月議会での一般質問)

・産後うつケア事業の創設  
(令和4年3月議会での一般質問)

・第2子以降の認可外保育施設  
利用給付の開始

(令和5年12月議会での一般質問)

・特別な配慮を要する児童の保育環境充実

・保育士の人手不足解消と処遇改善  
(頂いたお声をもとに予算要望提出)



## 石川 和良 3月定例議会での一般質問



### 1. 放課後の子育て支援について

問. 放課後子ども教室のさらなる充実が必要と考えるが、見解はどうか？

答. 来年度の定員について、運営責任者であるコーディネーターと協議を重ねたが、今年度と同じ16名での実施とした。今後については、開催日数や児童の参加者数を増やすことに向け、スタッフの充実も含め、課題を整理し、コーディネーターと協議していく。

### 2. 幼児教育・保育について

問. 第1子も保育料を無償化すべきと考えるが、見解はどうか？

答. 認可保育施設のみでも、保育料無料化の対象を第2子以降から第1子へ拡大した場合の影響額は1億2千万円を超えると試算しており、市独自に取り組む計画はない。

問. 幼児教育・保育の受け皿拡大が必要と考えるが、見解はどうか？

答. 保育士確保の方策として、民間の認可保育園に処遇改善費補助金を交付している。今年度からは新卒保育士に奨学金返済支援事業も実施しており、県が実施する保育士就職支援の活用や保育実習生の積極的な受け入れなども実施する。児童受入れ枠の拡大については、引き続き既存施設の定員の見直しと弾力化を進める。

### 3. カーブミラーについて

問. 必要に応じて設置基準の見直しも行い、設置要望者の声や現地の状況を十分に考慮して設置の判断をしていたきたいが、見解はどうか？

答. 設置については、現地の状況を十分に確認した上で決定している。今後も要望の箇所について必要性を適正に判断していく。設置基準については、令和4年度に見直しを行っているため、当面の間、見直す予定はない。

### 4. 水質環境の保全について

問. 個人管理浄化槽の修繕費用に補助金を適用すべきと考えるが、見解はどうか？

答. 補助の対象が浄化槽の使用者に限定される点において、公益性や公平性に欠けるものと考えており、新たな補助制度創設の予定はない。

問. 管理料を徴収し、行政が個々の浄化槽の管理を行う方法もあるが、見解はどうか？

答. 公共浄化槽や集落排水事業などの方法があるが、新たな配管やポンプ施設などが必要となるため、使用料の負担は増えることとなり、今後も個人設置型浄化槽による生活排水処理の取組を継続していく。

## 石川和良の要望が実現します！（一例）

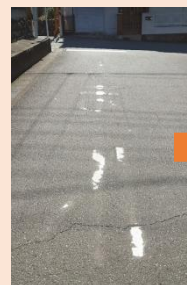
紙おむつ給付事業の継続と対象拡大  
(令和5年9月議会での一般質問)



交通安全対策(道路標示の補修)  
(野田地内)



(市内7か所)



## 大山 義一 3月定例議会での一般質問



### 1. 大規模災害時の対応について

問. 能登地震の被災地では、業務継続計画を計画通りに実行することが困難を極めたと指摘される。本市でも早急に検証と見直しを行うべきではないか？

答. 業務継続計画は地域防災計画と密接に関係するものであり、指摘の部分も含め記載内容を精査し改善する。

問. 広域(市外・県外)に避難した被災者の情報把握はどのように行うのか？

答. 被災者の情報登録窓口設置及び、ホームページ、SNS など様々な媒体を活用することにより把握する。

問. 高齢、障がい、ペットなどを理由に避難所ではなく在宅避難している被災者の把握と支援はどのように行うのか？

答. 在宅避難者にも避難所と同様の支援を行うが、在宅避難者は市へ申出いただく必要がある。

問. 女性の視点からの避難所の環境改善の取組はあるか？

答. トイレ、更衣室、物干し場等は女性専用のものを設置し、授乳室も設置する。全ての避難所に女性職員を2名以上配置する。



### 2. 主権者教育について

問. 日本は「国民主権」、つまり私たち国民一人一人が主権者である。小中学校主権者教育指導資料には「主権者教育は、正解が一つに定まらない論争的な課題に対して、児童生徒が自分の考えを持ちつつ、異なる意見や対立する意見を整理し、議論を交わしたり、他者の意見と折り合いをつけたりする中で、納得解を見いだしながら合意形成を図っていく過程が重要」と謳っている。現在、義務教育課程で行われている主権者教育について、教育長の見解を伺う。

答. 児童生徒が主体的に考え、議論しながら課題解決を図る活動を十分行うことが大切であり、市教育委員会は特に特別活動に力を入れている。今後もこうした授業実践を行えるよう各学校を指導する。

問. 行政・教育委員会・議会が一体となった主権者教育の取組も有益と考えるが、市長の見解を伺う。

答. 混沌とした世界情勢の中、国民が主権者として判断を下せるよう、あらゆる世代の政治的リテラシーを醸成することが重要である。行政・教育委員会・議会がそれぞれの役割を果たしながらも連携し、民主主義の基本であるまちづくりを前に進めていく。

## 大山義一の要望が実現します！（一例）

- ・小中学校体育館へのエアコン設置  
(令和5年6月議会での一般質問)
- ・奨学金返還支援制度の創設  
(令和5年9月議会での一般質問)
- ・子ども見守り隊の熱中症対応保険加入  
(令和5年9月議会での一般質問)

